

トピックス **ぶらす**

6/28

防災センターの来場者が1万人を突破!

平成20年3月に開所した市消防防災センターの来場者が1万人に到達したのを祝い、6月28日記念セレモニーが行われました。記念すべき1万人目の利用者は、市子育てサークル「Oheso-to-Oheso^{おへそとおへそ}」の活動事業として、家族で施設見学に参加していた佐竹琉惺くん(迫)。セレモニーでは、佐竹くんにも市長から記念の認定証が贈られました。



▲来場1万人目の佐竹くんにも認定証が贈られました

6/29

こじか園に新しい通園バス

障害を持つ子どもの通園施設「こじか園」の新しい通園バスの利用が6月29日からスタートしました。これは全国の産婦人科の医師や出産した女性からの善意の基金「おぎゃー献金基金」からの助成を受け、購入されたもので、今年度は県内で4つの施設に助成金が贈られています。バスは今後、園児の送迎や園外活動などに活用されます。



▲電動格納式ステップなど充実した福祉装備が特徴

7/7

身近な自然環境について学ぶ

市内の環境について学ぶ「登米市環境出前講座」が7月7日に開催され、登米小学校4年生が、羽沢川に住む生き物の調査や水質検査を行いました。今回の講座で子どもたちは川の調査を通じ、そこに住む生き物や森林の働きを学びました。これは全国モーターボート競走施行者協議会の助成を受け実施されたもので、今後も活動が予定されています。



▲町内を流れる羽沢川の生き物調査をする登米小児童

7/17

商品券で地域経済を活性化

特典付きの券で、地域経済の活性化を目的とする「とめっこマネー」の第3回抽選会が7月17日、市役所迫庁舎で行われました。抽選会では、特賞のとめっこマネー2万円分5本や1等の3千円分20本などが市長や市振興協同組合の役員によって選ばれました。当選番号は8月1日発行の振興協同組合のチラシ裏面に掲載されています。



▲市長や振興協同組合役員が各賞の当選番号を抽選

健康な歯で生き生きライフ!

豊里で歯の健康講座

歯みがきの心地よさや楽しい体験など、歯と口を通して健康づくりを学ぶ「第1回歯から始める健康講座」が7月9日、豊里健康管理センターで行われ、市内から26人が参加しました。今回は「自分の口の中を知ろう」をテーマに、グループワークを行い歯周疾患と全身疾患の関連性について学んだ後、プラーク(歯垢)の染め出しや顕微鏡を使ってのプラーク観察などを行いました。参加者は口の中の細菌の数に驚いた様子で、歯みがきの重要性を改めて実感した講座となりました。



▲講師から説明を受け、歯周病予防や正しい歯磨きについて学ぶ参加者

地域を越えて友達たくさん!

中田で登米市と横浜市の青少年交流事業

市中田町の小学4年から6年生までの児童25人と、横浜市泉区中田町の小学3年から6年生までの児童59人の計84人が参加して「第6回なかだっ子ともだちづくり交流会」(中田町都市農村交流促進協議会主催)が、7月18日から20日までの2泊3日、神奈川県横浜市で開催されました。この事業は、自然体験交流などを通じ、都市部と農村地域の子どもの友好を深めようと平成16年から開催されています。参加した子どもたちは、野外活動などを通じ、地域や年齢を超えて、たくさんの友達を作っていました。



▲活動を通じ、地域を越えて楽しく交流をする子どもたち

17文字に想いを込めて

登米で芭蕉祭俳句大会

第58回登米芭蕉祭俳句大会(市・とよま俳句会主催)が6月7日、登米公民館で開かれ、市内外から多くの俳句愛好者が集いました。大会では初めに、県俳句協会長の佐治英子さんら3人の選者と、片平あきら大会長が選んだ兼題(事前投句)の表彰式が行われ、社会人の部と小中高校生の部の入選者に市長から賞状が贈られました。午後からは、当日お題が発表された「金魚」「滝」「植田」を句に詠んだ席題(当日投句)の入選作品の発表と講評が行われ、入選した皆さんに賞状や副賞が贈られました。



▲当日発表されたお題について句を思案する参加者